

# 大河津分水親子堰の見学会

## 1. イベント概要

期 日：平成30年8月11日（土） 9:00～12:00

会 場：可動堰や操作室など

内 容：可動堰や堰の操作室などをガイドと一緒に巡り、クイズに答えながら堰の役割について学びました。

主催者：信濃川河川事務所

参加者：12人

**大河津分水 親子堰の見学会**  
～可動堰や流路を体験してみよう～  
可動堰は日本と変わらないけど、何が日本一なのかな？  
可動堰や流路を操作する装置にはどのような仕組みがあるのかな？  
ふんは入れないけれどごっこ遊びです！

日 時：平成30年8月11日（土）  
AMの部 9:00～12:00 PMの部 13:30～16:30  
集 合：信濃川本宮資料館4F展望室  
内 容：信濃川大河津資料館と大河津分水の堰の構造などについて、ガイドの案内で見学します。  
対 象：小学生と保護者の家族（お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん）  
お申込み方法：お申し込みは、お申し込み用紙を、学校、学童、児童館、児童クラブ、公民館等に配布されているお申し込み用紙に記入し、お申し込みください。  
お申し込みの受付期間：8月6日～8月10日（受付終了）  
お申し込みの受付時間：AMの部 9:00～11:30 PMの部 13:30～16:00  
お申し込みの受付場所：信濃川大河津資料館4F展望室  
お申し込みの受付人数：12名まで  
お申し込みの受付料：無料  
お申し込みの受付方法：お申し込み用紙を、学校、学童、児童館、児童クラブ、公民館等に配布されているお申し込み用紙に記入し、お申し込みください。  
お申し込みの受付期間：8月6日～8月10日（受付終了）  
お申し込みの受付時間：AMの部 9:00～11:30 PMの部 13:30～16:00  
お申し込みの受付場所：信濃川大河津資料館4F展望室  
お申し込みの受付人数：12名まで  
お申し込みの受付料：無料  
お申し込みの受付方法：お申し込み用紙を、学校、学童、児童館、児童クラブ、公民館等に配布されているお申し込み用紙に記入し、お申し込みください。

大河津分水周辺マップと探検ルート

当日のスケジュール

AMの部	PMの部
9:00～9:20 集合	13:30 集合
9:20～9:45 大河津分水資料館4F展望室	13:40～13:50 大河津分水資料館4F展望室
9:45～10:10 可動堰	14:00～14:15 可動堰
10:20～10:40 可動堰	14:20～14:40 可動堰
11:00～11:20 可動堰	14:50～15:10 可動堰
11:30～11:40 可動堰	15:30～15:50 可動堰
11:50～12:00 可動堰	16:00～16:10 可動堰
12:00 解散	16:20～16:30 可動堰
	16:30 解散



最初に資料館の分水路模型前で、施設の位置等の説明を行いました。

## 2. イベント状況

信濃川大河津資料館4F展望室でクイズシートが配布され、内容の説明を受けたあとに実際に周辺施設を巡りました。各施設ごとにガイドがあり、クイズのヒントが隠されていました。途中、雨模様となりましたが、皆さんの「行きたい！」という要望があり、最後まで予定通りに巡ることができました。



普段は入ることのできない旧可動堰のスペースに立ち入り、その役割や現場主任であった宮本武之輔について説明しました。



さらに、実際に川が流れていた部分にも特別に立ち入り、旧可動堰のゲートに埋め込まれた、約90年前のプレートを確認しました。



旧可動堰から役割を引き継いだ現在の可動堰では、「ゴォーツ」という音とともにゲートが動き出した瞬間に立ち会うことが出来ました。



堰の操作室では、大きなモニターに映し出された情報をもとに、毎日24時間体制で堰の操作を行っていることを説明しました。



資料館に戻り、クイズの答え合わせを行った後に、堰カードと分水路スケールをプレゼントしました。

### 参加者の声



堰の操作室に入ってみたかったので、今回参加してみました。堰はいつもあって当たり前で、普段は何をしているのだろうと思っていましたが、実際には細かい操作をしており、その苦労や重要性が良く分かりました。また、子どもたちが退屈しないように工夫してガイドしていただいたので、子どもも洪水の時に堰の操作室を思い出したいと思います。（燕市在住）

堰の操作室に入ってみたかったので、今回参加してみました。堰はいつもあって当たり前で、普段は何をしているのだろうと思っていましたが、実際には細かい操作をしており、その苦労や重要性が良く分かりました。また、子どもたちが退屈しないように工夫してガイドしていただいたので、子どもも洪水の時に堰の操作室を思い出したいと思います。（燕市在住）